

製品名: IL-11 ウサギポリクローナル抗体

カタログ番号: APRab12487

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	IHC, ICC/IF, ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率 IHC 1:100-1:300, ICC/IF 1:50-1:200, ELISA 1:5000-1:10000

分子量

抗原情報

遺伝子名	IL11
別名	IL11; Interleukin-11; IL-11; Adipogenesis inhibitory factor; AGIF; Oprelvekin
遺伝子 ID	3589.0
SwissProt ID	P20809
免疫原	抗血清はヒト IL-11 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 27-76

背景

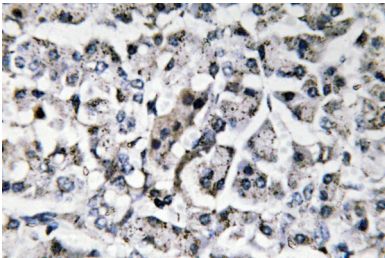
この遺伝子によってコードされるタンパク質は、サイトカインの gp130 ファミリーに属します。これらのサイトカインは、膜貫通シグナル伝達受容体 IL6ST (gp130) を少なくとも 1 分子含む、多サブユニット受容体複合体の形成を促進します。このサイトカイン

は、T細胞依存性の免疫グロブリン産生B細胞の分化を刺激することが示されています。また、造血幹細胞および巨核球前駆細胞の増殖を促進することも知られています。この遺伝子には、異なるアイソフォームをコードする選択的スプライシングを受けた転写バリエーションが見つっています。 [RefSeq 提供、2012年6月],機能: 造血幹細胞および巨核球前駆細胞の増殖を直接刺激し、巨核球の成熟を誘導することで、血小板産生を増加させます。 ,オンライン情報: ニューメガの臨床情報,オンライン情報: インターロイキン-11のエントリー,医薬品名: ニューメガ (ワイエス社) として販売されています。重度の血小板減少症の予防および骨髄抑制性化学療法後の血小板輸血の必要性の低減に使用されます。 ,類似性: IL-6スーパーファミリーに属します。 ,

研究分野

サイトカイン-サイトカイン受容体相互作用;Jak_STAT;造血細胞系統;

画像データ



パラフィン包埋ヒト脾臓組織における IL-11 抗体の免疫組織化学分析。